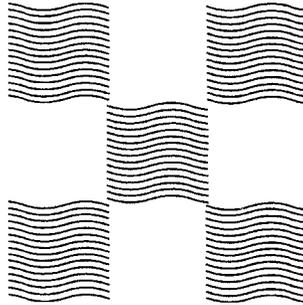


同志社社会学研究

「第 11 号」



2007 年 3 月

●研究論文

Changing the World the Jawaiian Way :
Reggae, Pacific Islands Music,
and Social Agency amongst Japanese Fans

Bruce WHITE

●研究ノート

朝鮮総督府の「密造酒」取締り行政について
——国家記録院文書を中心に——

板垣 竜太

現代中国の「跳槽」に関する一考察

中村 圭

——中国沿海都市部に住むある女性のライフヒストリーを通して——

●セミナー

ベクトルと行列の基礎
——計量分析の方法 (1)——

小林 久高

フィールドワークの教育効果

河口 充勇

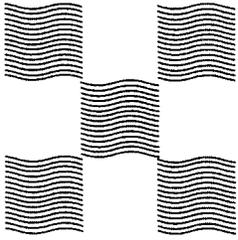
●書評

野々山久也著

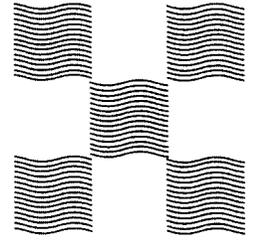
『現代家族の変動分析—直系性家族・夫婦制家族から合意制家族へ—』

東京大学出版会 (近刊)

立木 茂雄



ISSN 1342-9833



Doshisha Review of Sociology

No. 11 March 2007

CONTENTS

●ARTICLE

Changing the World the Jawaiiian Way :

Reggae, Pacific Islands Music, and Social Agency amongst Japanese Fans

Bruce WHITE

●NOTES

Roundup of "Illicitly Brewed Liquor" by Colonial Power in Korea :

A Study of Documents in National Archives

ITAGAKI Ryuta

A Consideration for the TIAO CAO "a job hopping" in Contemporary China :

Through a Life of Woman in the Coastal City of China

NAKAMURA Kei

●SEMINARS

Vector and Matrix :

Method and Technique in Sociological Quantitative Analysis (1)

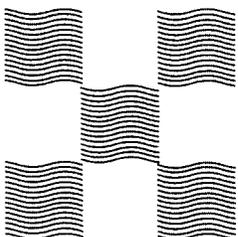
KOBAYASHI Hisataka

Educational Effects of Fieldwork

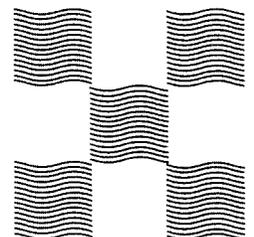
KAWAGUCHI Mitsuo

●BOOK REVIEW-REJOINDER

TATSUKI Shigeo



Doshisha Sociological Association



同志社社会学研究

NO. 11, 2007

<目次>

●研究論文

- Changing the World the Jawaiian Way :
Reggae, Pacific Islands Music, and Social Agency amongst Japanese Fans
Bruce WHITE 1

●研究ノート

- 朝鮮総督府の「密造酒」取締り行政について
——国家記録院文書を中心に——
板垣 竜太 15
- 現代中国の「跳槽」に関する一考察
——中国沿海都市部に住むある女性のライフヒストリーを通して——
中村 圭 27

●セミナー

- ベクトルと行列の基礎
——計量分析の方法 (1)——
小林 久高 45
- フィールドワークの教育効果
河口 充勇 67

●書評

- 野々山久也著
『現代家族の変動分析—直系性家族・夫婦制家族から合意制家族へ—』
東京大学出版会 (近刊)
立木 茂雄 81

研究室だより 83

2006 年度院生業績一覧 84

修士論文題目 87

執筆者紹介 88

「同志社社会学研究」編集規定

編集後記

「同志社社会学研究」編集規定

1. 本研究誌は同志社社会学研究学会の機関誌として社会学の研鑽に寄与し、また会員相互の研究交流に資することを目的とする。
 2. 掲載内容は以下のものとする（枚数：400字）
 - 研究論文（40～60枚）
 - 研究ノート（20～30枚）
 - 学会・研究動向（10～20枚）
 - 書評・紹介（10～15枚）
 - 研究室だよりなど
 3. 編集委員は本学社会学専攻教員、同院生及び同卒業生の代表により構成される。
 4. 投稿者は本学社会学専攻教員、同院生、同修了・卒業生とする。
 5. 原稿は未発表のものに限る。掲載の可否は、専門のレフリー（本学教員＋外部の専門家各1名）の審査の結果を受け、最終的に編集委員が行う。
 6. 原稿の締め切りは12月末、発行は翌年3月とする。
 7. 執筆要項
 - 横書き、口語常体、完成原稿で提出。註や参考文献の書式は日本社会学会機関誌「社会学評論」に準じ、論文の最後に別々にまとめる。詳しい執筆要領は別に定める。
 8. 提出原稿の形式
 - 題目は日本語と英文タイトルをつけ、フロッピー1枚とハードコピー（40字×40行）を3部提出。（フロッピーは1.4MBを使用し、MS-DOS及びMACのテキストデータとする。）
- *その他の事項については、社会学の研究誌としての性格に鑑み、編集委員会が対応する。

◆ 編集後記 ◆

『同志社社会学研究』第11号をお届けします。

本号には着任3年目の小林久高先生と板垣竜太先生、着任2年目の Bruce White 先生、同志社大学 COE 特別研究員の河口充勇先生、博士後期課程の中村さんの論文が掲載されています。Bruce White 先生にはフィールドワークの研究成果の一つを研究論文としてご寄稿頂き、板垣先生には現在取り組んでおられる内容について研究ノートをお寄せ頂きました。留学中の中村さんも現地での研究成果を研究ノートとして寄せてくれました。また今回、新しく設けた「セミナー」では、小林先生が計量系の解説を、河口先生が質的調査の教育効果についてご執筆下さいました。本号はこれらの研究論文、研究ノート、セミナーにおいて計5本の論文で構成されています。

掲載内容に対する皆様のご意見やご批判は、本誌の向上に必要な不可欠なものです。お読みいただき、是非、ご批判・ご意見・ご感想をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。
(藤本)

◆ 編集委員 ◆

森川真規雄

藤本 昌代

伊藤 敏安

西丸 良一

山本 圭三

白川 俊之

同志社社会学研究 第11号

2007年3月31日発行

発行人 同志社社会学研究学会

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入

TEL. 075-251-3441

FAX. 075-251-3066

印刷 協和印刷株式会社